

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年10月13日～2016年10月19日)

平成 28 年(2016 年)10 月 21 日

H E A D L I N E S

政治

ベニス委員会, 憲法法廷改正法に関する意見書を採択
 憲法法廷設立30周年記念式典
 カチンスキPiS党首, 不動産返還問題に関する調査委員会設置方針を発表
 ドウダ大統領, 社会対話評議会に出席
 憲法法廷問題を巡り, 国内外のNGO等が大統領及び首相宛の共同書簡を发出
 ブワシュチャック内相のEU内務理事会出席
 シャトコフスキ国防次官, エストニア訪問
 イリノイ州兵, 統合作戦司令部へ訪問
 ヴァシチコフスキ外相の欧州議会外務委員長との会談
 V4大統領会合開催
 マチエレヴィチ国防大臣, ウクライナとのヘリ共同開発の協議を発表
 ロジャンスキ中将, クウェート訪問
 ロシア国防省, イスカンダル・ミサイルのカーリーニングラード配置は常設と確認
 ヴァシチコフスキ外相の訪韓

経済

ゴヴィン副首相兼科学・高等教育大臣の訪中
 商業施設税施行延期
 9月の平均賃金
 LOTの韓国直行便就航
 海事経済相, 内陸水運の開発が重要と強調
 PZUと伊 UniCredit との間で Pekao 銀行株売却交渉が進行中
 開発省次官, 鉄道貨物輸送の強化が必要と指摘
 ポーランドの2016年の新規(スタートアップ)企業は2, 670社
 トヨタ, ポーランドでのハイブリッドトランスアクスル, ガソリンエンジン生産を発表
 原子力計画に関する進捗報告書を了承

大使館からのお知らせ

パスポートダウンロード申請書のご案内
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 大使館広報文化センター開館時間
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内政

ベニス委員会、憲法法廷改正法に関する意見書を採択【14日】

14日、ベニス委員会は本年7月に成立した憲法法廷改正法に関する意見書を採択した。同意見書は、特に、憲法法廷改正法が司法の独立性及び最終的な違憲審査機関として憲法法廷の役割を踏まえていない点を指摘すると同時に、同法が憲法法廷の作業の遅延及び停止をもたらし、右作業を非効率的なものとするとの見方を示した。

同日、ボヘネク政府報道官は、ベニス委員会の意見書は偏見に満ちており、同意見書にはポーランドの国家体制に関する認識の誤りが含まれている旨述べた。また、ヴァシチコフスキ外相は、意見書の内容は一方的なものであり、ベニス委員会とこれ以上対話を続けても意味がない旨述べた。

憲法法廷設立30周年記念式典【17日】

17日、憲法法廷設立30周年記念式典がグダンスクにて開催され、ブキッキオ・ベニス委員会議長、レナルツ欧州司法裁判所長官、チェコ、リトアニア、モルドバ、ウクライナの憲法法廷長官等が出席した。国内からは最大野党・市民プラットフォーム(PO)のスヘティナ党首等が出席したが、政府関係者は出席しなかった。同式典にて、ジェプリンスキ憲法法廷長官は、憲法の体系における憲法法廷の役割につき誰もが理解しなければならない旨述べた。

カチンスキPiS党首、不動産返還問題に関する調査委員会設置方針を発表【18日】

18日、与党「法と正義」(PiS)のカチンスキ党首は、記者会見を開き、共産主義時代に国有化された土地及び不動産の返還プロセスにおける不正を調査する特別委員会を設置するための法案を法務省が準備していることを発表した。本委員会設置の動きは、8月にワルシャワ市の区画の再民営化を巡る不正疑惑が発覚したことを受けてのものである。

同日、最大野党・市民プラットフォーム(PO)に属するグロンキエヴィチ=ヴァルツ・ワルシャワ市長は、本件問題は全面的な不動産返還連立法を制定しない限り解決しない、PiSによる提案は政治的な駆け引きを激化させるだけである旨述べた。

ドゥダ大統領、社会対話評議会に出席【19日】

19日、ドゥダ大統領は、大統領の諮問機関として、雇用者、労働者、政府の三者の対話・協力を目的に1年前に発足された社会対話評議会の会合に出席し、同評議会は1年間に140の関連会合を実施し、有意義な成果を残した旨述べ、その活動を評価した。

憲法法廷問題を巡り、国内外のNGO等が大統領及び首相宛の共同書簡を发出【19日】

19日、国内外のNGO等90機関がドゥダ大統領及びシドゥウオ首相に宛てた共同書簡を发出し、憲法法廷問題に関する欧州委員会の勧告の履行を求めた。欧州委員会が7月27日に採択した法の支配プロセスにおける勧告の履行期限は3カ月であり、今月27日にその期限を迎える。

外交・安全保障

ブワシュチャック内相のEU内務理事会出席【13日】

13日、ブワシュチャック内相は、ルクセンブルグにて開催された難民問題を協議するEU内務理事会に出席し、ポーランドが5月に欧州委員会が提案した改革(難民をEU諸国に分配し、難民を受け入れなかった国に対して一人当たり25万ユーロの罰金を課す制度)には現在も反対であり、この移転制度は効果がなく、移民を欧州に引き込む結果となる旨述べた。

シャトコフスキ国防次官、エストニア訪問【13日】

13日、シャトコフスキ国防次官は、エストニアを訪問し、ヴィシェヴィヨフ国防常設秘書と会談を行い、地域のプレゼンスの向上と指揮システムの改善に関して議論を行った。また、ポーランドによるエストニア等バルト諸国の安全保障強化貢献計画やバルト諸国領空警備支援任務並びにエストニアのアマリ基地

で行う追加支援任務についても言及した。

イリノイ州兵、統合作戦司令部へ訪問【13日】

13日、イリノイ州兵で、アフガニスタンに展開するポーランド軍の副指揮官を兼ねるフォンセ中佐が、統合作戦司令部を訪問し、副司令官トシュ准将と会談を行い、EU、NATO、国連との軍事的な協力等について会談を行った。また、同中佐は、数週間後、副指揮官がクロッカー中佐に交代する旨述べた。

ヴァシチコフスキ外相の欧州議会外務委員長との会談【14日】

14日、ヴァシチコフスキ外相は、ワルシャワにて、エルマル・ブロック欧州議会外務委員長(独欧州議員)と会談し、外務政策及び安全保障に関するEU関連を主要話題に意見交換した。ブロック委員長は、欧州議会の憲法委員会にも所属しており、EUの将

V4大統領会合開催【14—15日】

14—15日、ポーランド南西部のジェシュフ及びワインツトにてV4大統領会合が開催され、ドゥダ・ポーランド大統領、ゼマン・チェコ大統領、アーデル・ハンガリー大統領及びキスカ・スロバキア大統領が出席し、若者の海外移住問題、欧州のアイデンティティ及びEUのエネルギー政策について意見交換をした。

マチェヴィチ国防大臣、ウクライナとのヘリ共同開発の協議を発表【15日】

15日、マチェヴィチ国防大臣は、ウクライナのシュチェ社と共同でヘリの開発を行う協議を行っている旨を発表した。隣国同士で技術や経験を基礎に共同で開発を行うもので、ポーランド軍が現在選定中の多用途ヘリの対象からは除外されている。

ロジャンスキ中将、クウェート訪問【17日】

17日、統合全般司令官ロジャンスキ中将は、空軍検査官・ドレヴェツキ准将とともに、クウェートを訪問し、生来の決意作戦に参加する兵士を激励した。

ロシア国防省、イスカダール・ミサイルのカーリーニングラード配置は常設と確認【17日】

17日、ロシア国防省は、イスカダール・ミサイルをカーリーニングラード州へ展開したことにに関して、同展開は、常設的に配置すると述べた。

ヴァシチコフスキ外相の訪韓【17日—19日】

17—19日、ヴァシチコフスキ外相は、17日より就航したLOTポーランド航空のワルシャワ—ソウル間の直行便に搭乗し韓国を訪問し、黄教安首相、林聖男外交部第一次官及び洪容杓統一部長官と会談を行い、両国の戦略的協力及び経済関係、朝鮮半島の安全保障、東ウクライナ情勢及びポーランドの国連安保理非常任理事国への立候補について意見交換した。

経 済

経済政策

ゴヴィン副首相兼科学・高等教育大臣の訪中【14日】

10日から中国を訪問したゴヴィン大臣は、成都において、ポーランド航空(LOT)は外国の投資家を必要としており、投資の双益性等を勘案した上で、中国国際航空が49%までの株式を取得する可能性がある」と発言した。同大臣は、中国との間の航空便による利益は明らかに伸びつつあり、成都とポーランドの間に航空便が就航すれば、ワルシャワが欧州のハブになり得るとした。

商業施設税施行延期【18日】

商業施設税の施行を2018年1月まで差し止める内容の法案を政府が承認した。同税は9月1日に導入されたが、同19日、欧州委員会が詳細な調査を開始し、調査終了まで税の施行を差し止めるよう指令したもの。欧州委員会は、ポーランド自身が税制につき決定する権限に異は唱えないとしつつ、税制は国の(企業等に対する)補助に関するEU法に則ったものである必要があり、売上げの少ない商店等特定の企業を特別に利するものであってはならないとしている。

マクロ経済動向・統計

9月の平均賃金【18日】

中央統計局(GUS)によれば、9月の平均賃金は4,217.96ズロチで対前年同月比3.9%増、

対前月比0.1%増。企業部門の雇用は5,771,500人で対前年同月比3.2%増、対前月比0.2%増となった。

ポーランド産業動向

LOTの韓国直行便就航【17日】

ポーランド航空(LOT)のソウル直行便が17日に就航し、第一便にはヴァシチコフスキ外相が搭乗した。ソウルは中国、日本に続きアジア主要都市を結ぶLOT直行便の3カ所目の目的地となり、週3便運行予定である。

海事経済相、内陸水運の開発が重要と強調【17日】

グローバルチック海事経済・河川交通大臣は、グディニャで行われた会議において、政府は海運業の復興と新規造船を進めると強調し、特に内陸水運開発の重要性を指摘した。独との国境沿いを流れるE30水路とグダンスクからベラルーシ・ウクラ

イナを通り黒海につながるE40水路の重要性を取り上げ、特にE40水路は欧州やアジアと連結し、貨物取扱の多様化につながると指摘している。同大臣は、E40水路の活性化には300億ズロチ以上の経費が見込まれると述べた。

PZU と伊 UniCredit との間で Pekao 銀行株売却交渉が進行中【17日】

伊 UniCredit 銀行は、同社のポーランド子会社 Pekao 銀行の株式売却に向けた協議を、国有保険会社 PZU とポーランド投資開発基金(PFR)との間で9月末より行っていることを認めた。同社は現時点では売却成立の見通しについては明言していない。過去の報道によれば、UniCredit 銀行が保有する Pekao 銀行株は40%、130億ズロチ相当とされている。

開発省次官、鉄道貨物輸送の強化が必要と指摘【18日】

スウォヴィク経済開発省次官は、ポーランドの取扱い貨物のうち鉄道利用は15%で、85%は道路輸送であることを踏まえ、EU基金による670億ズロチに上る支援により、鉄道では旅客だけでなく取扱貨物量の増大するとの認識を示した。また、同次官は、ポーランドにおける世界的な車両メーカーであるPESAやNewagを取り上げつつ、政府の成

長戦略では鉄道車両の開発にも力を入れていると述べた。

ポーランドの2016年の新規(スタートアップ)企業は2,670社【19日】

ポーランド開発基金が発表した報告書「Polish Startups 2016」によると、ポーランドにおけるスタートアップ企業数は2,670社、その多くはIT分野で、設立後2年を超えておらず、各企業の社長も20-30台と若い。半数は自己資金であるが、残りはEU基金やベンチャー向け融資などを活用している。経済開発省エミリエヴィツ次官は、新規開発企業支援事業のため、EU基金を原資とする30億ズロチ近い予算を確保していると強調した

トヨタ、ポーランドでのハイブリッドトランスアクスル、ガソリンエンジン生産を発表【20日】

トヨタは当地西部にある2つの工場の新規投資計画を発表した。ヴァウブジフのTMMPでは2018年よりハイブリッドトランスアクスルの製造を開始し、イエルチ＝ラスコヴィツエのTMIPでは2017年より新たにガソリンエンジンの製造を開始する。これらの投資の総額は1.5億ユーロ。本発表は経済開発省において行われ、モラヴィエツキ副首相も今回の投資を歓迎する等述べた。

エネルギー・環境

原子力計画に関する進捗報告書を了承【14日】

エネルギー省は、2014年に策定された原子力計画の2015年までの進捗状況に関する報告書が閣議決定されたことを発表した。同時に新たに原子力開発計画を改訂することとなり、エネルギー

省が作業を進める。2017年第1四半期に融資等の資金調達面や入札手続に関する検討も含めた案を提示し、同年末を目処に完成させることとしている。

大使館からのお知らせ

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】展覧会:「俳優, 人形, 影。日本と中国の演劇」【9月16日(金)～10月31日(月)】

ワルシャワ市の国立歌劇場付属演劇博物館にて、日本と中国の演劇に関する展覧会が開催され、能面、衣装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所: ワルシャワ市国立歌劇場オペラの演劇博物館, ul. Plac Teatralny 1

詳細:

<http://teatr Wielki.pl/dzialalnosc/muzeum-teatralne/wystawy/aktorzy-lalki-i-gracieni-teatr-w-chinach-i-japonii/>

【開催中】花鳥画展【9月21日(水)～12月31日(土)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、花鳥画展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://www.manggha.pl/exhibition/81>

【開催中】展覧会「現代日本書道における西洋文化の影響」【10月20日(木)～11月6日(日)】

トルン旧市庁舎博物館にて、日本現代書道に関する展覧会が開催され、7種の書風による書道作品99点が展示されています。

開催場所: トルン旧市庁舎博物館, Kamienica pod Gwiazda, ul. Rynek Staromiejski 35

詳細: <http://www.muzeum.torun.pl/>

【予定】極真空手選手権大会・オルシュティン市武道フェスティバル【10月22日(土)】

オルシュティン市にて、オルシュティン極真空手クラブ主催による『第17回ポーランドシニアオープン・極真空手選手権・ポーランドジュニア極真空手選手権・オルシュティン市武道フェスティバル』が開催されます。

開催場所: ヴァルミア＝マズールィ県, オルシュティン市, Hala Widowiskowo-Sportowa „URANIA”, ul. Piłsudskiego 44

詳細: <http://www.karate.olsztyn.pl/>

【予定】文化祭: 日本芸術フェスティバル 【10月22日(土)～11月6日(日)】

ワルシャワ市にて、チビワル基金主催による文化祭『日本芸術フェスティバル』が開催されます。様々なワークショップ(折り紙・墨絵等)、日本人アーティストによる展覧会、伝統的な音楽のミニコンサートなどが予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, Crux, ul. Hoża 51

詳細: <https://www.facebook.com/events/1807471602830452/>

【予定】日本文化イベント「日本により近く」【10月23日(日)11:00～17:00】

ザブジェ市にて、学生スポーツクラブ「アイキドウ」主催による日本文化イベント『日本により近く』が開催されます。合気道デモンストレーションのほか、着物のプレゼンテーション、折り紙ワークショップ、寿司の試食などが予定されています。

開催場所: シロンスク県, ザブジェ市, ul. Matejki 8

【予定】第10回ワルシャワ大学日本祭: 戦争と平和一昭和天皇の日本【10月24日(月)～ 26日(水)】

ワルシャワ市にて、ワルシャワ大学東洋学部日本学科主催による『第10回ワルシャワ大学日本祭: 戦争と平和一昭和天皇の日本』が開催されます。日本に関する講演会及び学術発表、映画上映、文化行事が予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, ワルシャワ大学図書館, ul. Dobra 56/66

詳細: <http://japonistyka.orient.uw.edu.pl/dni-japonii/>

【予定】第2回日本・ポーランド クリーンコールセミナー【10月25日(火)9:00~17:00】

ワルシャワにて、一般財団法人石炭エネルギーセンター(JCOAL)主催による『第2回日本・ポーランド クリーンコールセミナー』が開催されます。

開催場所:ワルシャワ、ノボテルセントラムホテル, ul. Marszalkowska 94/98

【予定】日本映画祭【10月25日(火)~28日(金)】

ワルシャワの映画館 Elektronik にて音楽をテーマとした作品による「日本映画祭」が開催されます。各映画入場料 15PLN。(英語・ポーランド語字幕付)

上映スケジュール:

10月25日(火) 19時 「アブラクサスの祭り」加藤直輝監督作品 2010年

10月26日(水) 20時15分 「楽隊のうさぎ」鈴木卓爾監督作品 2013年

10月27日(木) 20時 「マエストロ！」小林聖太郎監督作品 2015年

10月28日(金) 20時 「くちびるに歌を」三木孝浩監督作品 2015年

サイドイベント(無料):

10月28日(金) 19時 ピアノとバイオリンのリサイタル

開催場所:Elektronik 映画館, Gen. Zajaczka 通り7番

詳細:<http://kinoelektronik.pl/2016/09/nieznane-oblicza-japonii/>

主催:在ポーランド日本大使館, 国際交流基金, エレクトロニク映画館

【予定】第2回日本・ポーランド クリーンコールセミナー【10月25日(火)9:00~17:00】

ワルシャワにて、一般財団法人石炭エネルギーセンター(JCOAL)主催による『第2回日本・ポーランド クリーンコールセミナー』が開催されます。

開催場所:ワルシャワ、ノボテルセントラムホテル, ul. Marszalkowska 94/98

【予定】ヤン・シビス賞受賞記念展覧会【10月29日(土)~11月29日(火)】

ポーランドアーティスト連盟ワルシャワ支部主催による『ヤン・シビス賞受賞記念展覧会』にて、受賞者の鴨治晃次氏による作品の展示が行われます。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, Galeria DAP, ul. Mazowiecka 11a

詳細:<http://owzppap.org/>

【予定】第1回ポーランド Japan Bowl®【11月6日(日)10:30~16:00】

ワルシャワにて、在ポーランド日本国大使館及びポーランド日本語教師会共催による日本語・日本文化大会『Japan Bowl®』が開催されます。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, 在ポーランド日本国大使館広報文化センター, Al. Ujazdowskie 51

詳細:http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_20161106.pdf

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)